

平成28年10月6日

NHK広報局

10月会長定例記者会見要旨

Q. 28年度上半期の営業業績（見込み）について

A. (靱井会長) 契約総数の増加は前年度実績を3万2千件上回る35万件で、28年度の年間計画50万件に対して70.0%、衛星契約の増加は40万5千件で、年間計画63万件に対して64.3%の進捗となる見込み。上半期においては、昨年度、年間を通して整備してきた訪問要員体制の効果などにより、業績確保につながったものと考えている。(詳細は報道資料参照)

Q. インターネット同時配信実験試験的提供Bと見逃し配信実験について

A. (会長) 11月28日から12月18日まで、昨年度に続いて2回目となるテレビ放送のインターネット同時配信実験「試験的提供B」と、同時配信した内容を後から視聴できる「見逃し配信実験」を実施する。今回は、総合テレビに加えてEテレでの配信や、副音声、マルチ編成などにも対応する。「見逃し配信実験」は、昨年度の実験で、要望が多く寄せられたことから実施する。同時配信した内容を放送直後から1週間、提供する。視聴のためのアプリも開発している。実験には1万人以内の方に参加いただき、▼視聴ニーズ▼配信システムへの負荷▼権利処理の課題について検証する。

(詳細は報道資料参照)

Q. エミー賞技術部門賞の受賞について

A. (会長) NHK放送技術研究所(技研)がプライムタイム・エミー賞の技術部門賞「フィロ・ファーンズワース賞」を受賞することになった。この賞は、テレビ技術の発展に貢献した企業や組織に贈呈されるもので、ハイビジョンなど、長年にわたる技研の研究開発の成果が、放送業界の発展に貢献したと認められ大変名誉なことと考

えている。(詳細は報道資料参照)

Q. 「TOKYOどこでも競技場@渋谷」が2020年東京の公認プログラム第一弾に決定

A. (会長) 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて10月10日に放送する12時間番組の中で中継するイベント

「TOKYOどこでも競技場@渋谷」が「公認プログラム」として組織委員会から認証された。組織委員会が認証した「公認プログラム」第一弾となる。NHKと地元商店街、町内会、渋谷区などが一緒に行うこのイベントでは、走り幅跳びで銀メダルを獲得した山本篤選手など、リオデジャネイロパラリンピックなどで活躍した一流のアスリートが、若者の街・渋谷で、世界トップクラスの身体能力を披露する。NHKは今後も、放送番組と連動しながら公認プログラムへ参加するなどして、東京大会への機運を高めるよう、全局を挙げて取り組む。(詳細は報道資料参照)

Q. 「NHK杯国際フィギュアスケート」について

A. (会長) 11月25日から27日、札幌市で開催される。男子はグランプリファイナル3連覇中で、昨シーズンのNHK杯でも優勝した羽生結弦選手、女子は昨シーズンのNHK杯優勝の宮原知子選手などの強豪選手に、成長著しい若手選手が挑む。NHKは、総合テレビとBS1ですべての種目を生中継する。日本選手の活躍が期待される男女のシングルは11月25日(金)、26日(土)に総合テレビとBS1で生放送する。インターネットでは、特設サイトやNHKスポーツアプリで、ハイライト動画などを配信予定。

(詳細は報道資料参照)

Q. 「受信料値下げ検討」の報道について

A. (会長) 内部の手続きとして具体的に何も決定していないし、経営委員会にも諮っていない。ただ、受信料については、これまでも国会で答弁している通り、お金が余ったら値下げをするのはわれわ

れの宿命だ。4K・8Kスーパーハイビジョンや2020年の東京オリンピックに向けた投資など、よくよく収支を見たい。受信料を改定する場合は、予算でやることになるので、予算編成の過程で見えていくことになる。ある程度めどがつけば、経営委員会と議論して、最終的な結論になっていくと思う。

Q. 「べっぴんさん」がスタートし、朝ドラの人気が続いていることについて

A. (会長) 主人公の生き方や性格が前向き、ひたむきなこと。「とと姉ちゃん」など、困った時でもめげずにがんばる積極的な姿勢が評価されていると思う。

(以上)